

市道 西酒屋三高線

(上水道移設工事)

数 量 計 算 書

平成 28年 3月

## 目 次

§ 1	数 量 総 括 表	1
§ 2	本管土工集計表	7
§ 3	HPPE φ 100土工単位数量計算書	8
§ 4	材料調書 HPPE φ 100	14
§ 5	切管調整表HPPE φ 100	16
§ 6	HPPE φ 100布設工	17
§ 7	HPPE φ 50土工単位数量計算書	18
§ 8	材料調書 HPPE φ 50	22
§ 9	切管調整表HPPE φ 50	23
§ 10	HPPE φ 50布設工	24
§ 11	舗装復旧数量集計表	25
§ 12	本舗装復旧工計算書	26
§ 13	保安要員集計表	27
§ 14	日当たり標準施工量一覧表	28

数 量 総 括 表

工事区分	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	単位	数	量	備考
	工事区分	細別	細別	細別	規格				
上水道									
管本設工事									
配水管布設工									
配水管 φ100mm						m	12.2		
配水管 φ50mm						m	0.0		
配水管路土工									
舗装切断									
As版カッター t = 15 c mまで						m	28		
舗装版破碎									
BHによる直接掘削（既設舗装） BH0.28m <sup>3</sup> （t = 10 c mまで）						m <sup>2</sup>	9		
管路掘削									
機械掘削 BH0.28m <sup>3</sup>						m <sup>3</sup>	19		
管路埋戻									
埋戻工（ダスト） BH0.28m <sup>3</sup>						m <sup>3</sup>	5		
埋戻工（発生土） BH0.28m <sup>3</sup>						m <sup>3</sup>	11		
土留め工									
軽量鋼矢板 I型 L=2.0m						m	9		
軽量鋼矢板 I型 L=3.0m						m	4		
支保工 1段						m	9		
支保工 2段						m	4		

発生土処分工				
土砂DT運搬（現場～仮置場）	DT4 t , 積込BH0.28m3	m <sup>3</sup>	11	埋戻土の仮置き
機械積込（仮置場）	BH0.80m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	11	〃
土砂DT運搬（仮置場～現場）	DT4 t , 積込BH0.80m3	m <sup>3</sup>	11	〃
土砂DT運搬（現場～処分地）	DT4 t , 積込BH0.28m3	m <sup>3</sup>	6	残土分
処分費（土砂）		m <sup>3</sup>	6	
As殻DT運搬（現場～処分地）	DT4 t , 積込BH0.28m3	m <sup>3</sup>	0	
処分費（As殻）		t	1	
仮復旧工				
下層路盤工				
路盤工（RC-30、t=10cm）人力		m <sup>2</sup>	9	
上層路盤工				
路盤工（M-30、t=11cm）人力		m <sup>2</sup>	9	
表層工				
表層工（仮舗装 再生粗粒As, t=3cm）		m <sup>2</sup>	9	
配水管布設工				
PE管φ100材料				
PE片受直管	φ100×5,000	本	2	
EF両受チーズ	φ100×φ50	個	0	
EF片受ベンド	φ100×45°	個	6	
EF両受ベンド	φ100×45°	個	2	
PE受口付フランジ短管	φ100	個	2	
PE両挿F付チーズ	φ100×φ75（鋳鉄製）	個	1	
EFキャップ	φ100	個	0	
メカ帽	KDIP φ100	個	2	
フランジ短管	φ75×500	個	1	
補修弁	φ75 H=100	個	1	
小型急排空気弁	φ25	個	1	

不断水分岐バルブ	DIP用 $\phi 100 \times \phi 100$	個	2	
不断水分岐バルブ	PE用 $\phi 100 \times \phi 100$	個	0	
不断水止水栓	DIP用 $\phi 100$	個	2	
不断水止水栓	PE用 $\phi 100$	個	0	
フランジ継手材	$\phi 75$ JIS7.5k	組	3	
フランジ継手材	$\phi 100$ JIS7.5k	組	2	
埋設表示シート	W=15cm	m	12.2	
ロケーティングワイヤー		m	12.2	
仕切弁BOX	$\phi 250$	基	4	
鉄蓋 $\phi 200$	T-25 H=150	個	4	
上部	$\phi 250$ H=150	個	4	
中部	$\phi 250$ H=150	個	4	
中部	$\phi 250$ H=300	個	4	
下部	$\phi 350$ H=300	個	4	
底板	円形 H=70	個	4	
空気弁BOX	$\phi 500$	基	1	
鉄蓋 $\phi 500$	T-25 H=100	個	1	
上枳	$\phi 500$ H=200	個	1	
下枳	$\phi 500$ H=300	個	1	
底板	$\phi 700$ H=40	個	1	
PE管 $\phi 50$ 材料				
P E 片受直管	$\phi 50 \times 5,000$	本	0	
EF片受ベンド	$\phi 50 \times 45^\circ$	個	0	
EF両受Sベンド	$\phi 50 \times 450H$	個	0	
EF片受Sベンド	$\phi 50 \times 450H$	個	0	
PE受口付フランジ短管	$\phi 50$	個	0	
EFキャップ	$\phi 50$	個	0	
不断水分岐バルブ	PE用 $\phi 50 \times \phi 50$	個	0	
フランジ継手材	$\phi 50$ JIS7.5k	組	0	

埋設表示シート	W=15cm	m	0.0	
ロケーティングワイヤー		m	0.0	
仕切弁BOX	φ 250	基	0	
鉄蓋 φ 200	T-25 H=150	個	0	
上部	φ 250 H=150	個	0	
下部	φ 350 H=300	個	0	
底板	円形 H=70	個	0	
PE管 φ 100布設				
ポリエチレン管据付工	溶融接合 φ 100	m	11.6	
ポリエチレン管継手工	溶融接合 片受 φ 100	口	8	
ポリエチレン管継手工	溶融接合 両受 φ 100	口	4	
メカニカル継手工	特殊押輪 φ 100	口	2	
フランジ継手工	φ 75	口	3	
フランジ継手工	φ 100	口	2	
ポリエチレン管切断工	φ 100	口	4	
鑄鉄管切断工	φ 100	口	2	
空気弁設置工	φ 25	基	1	
仕切弁ボックス設置工	円形 1 号	箇所	0	
仕切弁ボックス設置工	円形 1 号	箇所	4	
不断水連絡工	DIP用 φ 100× φ 100	箇所	2	
不断水連絡工	PE用 φ 100× φ 100	箇所	0	
不断水止水栓設置工	DIP用 φ 100	箇所	2	
不断水止水栓設置工	PE用 φ 100	箇所	0	
埋設表示シート工		m	12.2	
通水試験工		日	0.01	
スラストコンクリート工		箇所	2	
コンクリート	σ ck=18N/mm2	m3	0.2	
型枠		m2	2	
基礎碎石	RC-40 t=10cm	m2	1	

PE管 φ 50布設			
ポリエチレン管据付工	溶融接合 φ 50	m	0.0
ポリエチレン管継手工	溶融接合 片受 φ 50	口	0
ポリエチレン管継手工	溶融接合 両受 φ 50	口	0
フランジ継手工	φ 50	口	0
ポリエチレン管切断工	φ 50	口	0
仕切弁ボックス設置工	円形 1 号	箇所	0
不断水連絡工	PE用 φ 50× φ 50	箇所	0
埋設表示シート工		m	0.0
通水試験工		日	0
本舗装復旧工			
舗装撤去工			
舗装版切断	アスファルト15cmまで	m	7
舗装版破碎			
BHによる直接掘削(既設舗装)	BH0.28m <sup>3</sup> (t=10cmまで)	m <sup>2</sup>	22
路盤掘削			
機械掘削	BH0.28m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	0.1
残土処理工			
土砂DT運搬(現場～処分地)	BH0.28積込, 4t, L= m	m <sup>3</sup>	0.1
処分費(土砂)		m <sup>3</sup>	0.1
As殻DT運搬(現場～処分地)	BH0.28積込, 4t, L= m	m <sup>3</sup>	1
処分費(As殻)		t	2
舗装復旧工			
不陸整正			
不陸整正		m <sup>2</sup>	13
表層工			
表層工(密粒度 A s , t=4cm) 振動ローラ	1.8m以上	m <sup>2</sup>	22
プライムコート		m <sup>2</sup>	22

[illegible]

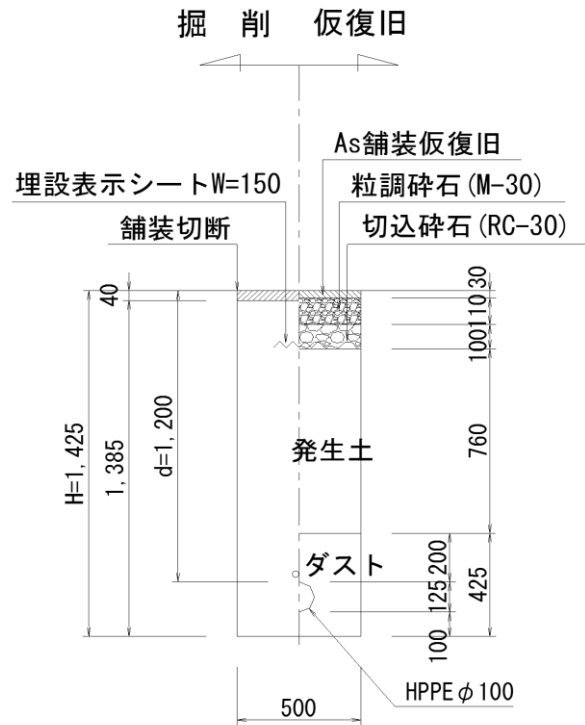


[illegible]

市道（車道部） H P P E  $\phi 100$   
1号函渠部 h = 1,200

		h=2.450	不斷水			
土工延長	= 11.18	-3.50	-2.38			

**L = 5.30m**

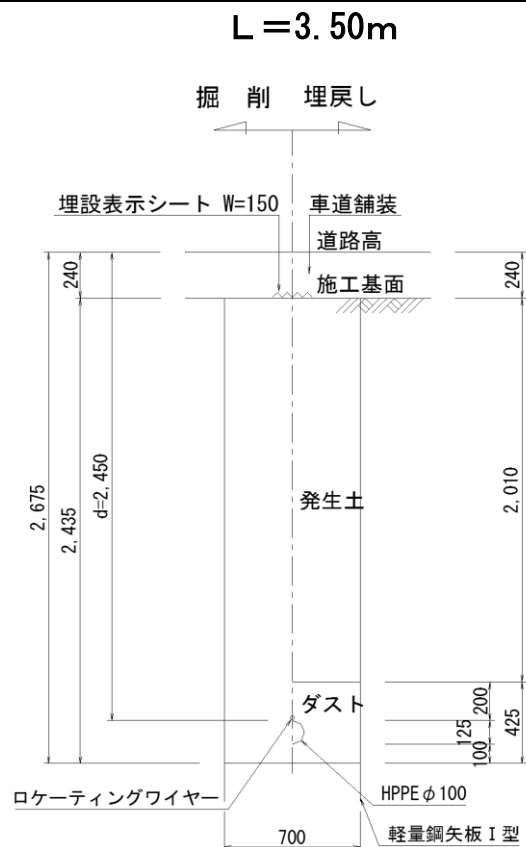


$$\text{配管控除} \quad \pi \div 4 \times 0.125^2 = 0.012 \text{ m}^3$$

[illegible]

## 土工單位数量計算書(1m当り)

市道（車道部）	H P P E	$\phi 100$
1号函渠部		h = 2,450

$$= 3.50$$


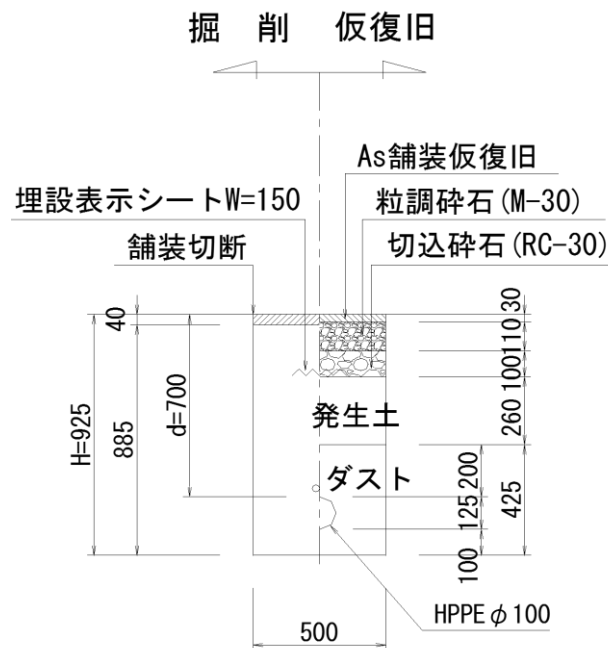
$$\text{配管控除} \quad \pi \div 4 \times 0.125^2 = 0.012 \text{ m}^3$$

[illegible]

## 土工單位数量計算書(1m当り)

市道（車道部）	H P P E	$\phi 100$	
2号函渠部		h =	700

		h=2.450	不斷水		
土工延長					



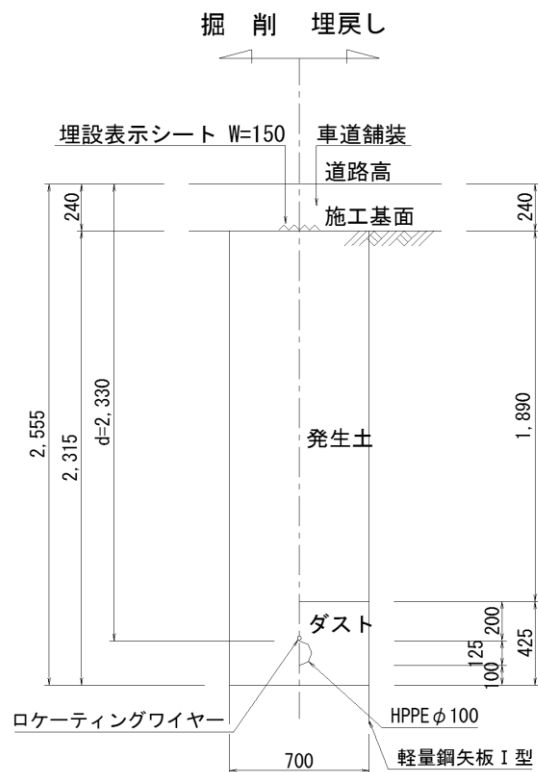
$$\text{配管控除} \quad \pi \div 4 \times 0.125^2 = 0.012 \text{ m}^3$$

[illegible]

## 土工單位数量計算書(1m当り)

市道（車道部）	H P P E	$\phi 100$
2号函渠部		h = 2,330

## 土工延長



$$\text{配管控除} \quad \pi \div 4 \times 0.125^2 = 0.012 \text{ m}^3$$

[illegible]

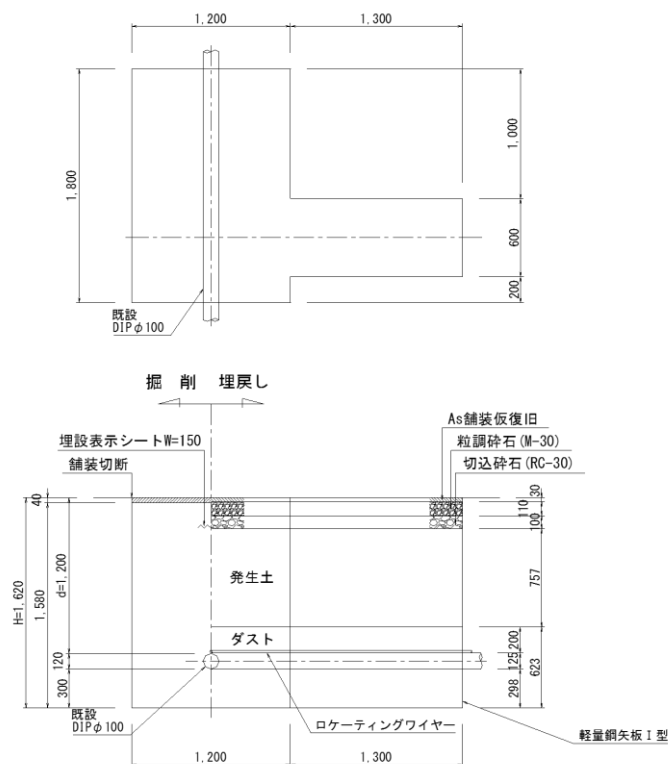
# 土工単位数量計算書（1カ所当り）

不断水分岐部 HPPE φ100  
1号函渠部 h = 1,200

カ所

= 2

N=2カ所

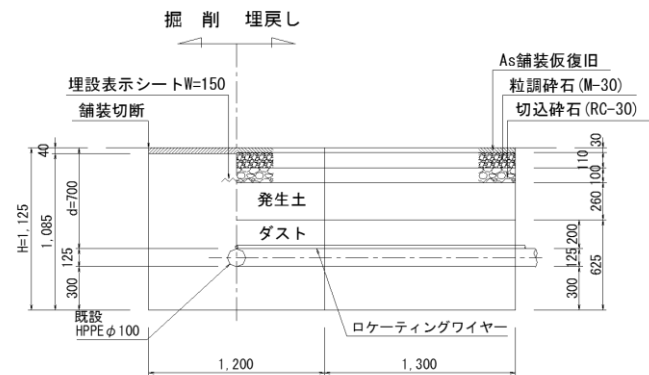
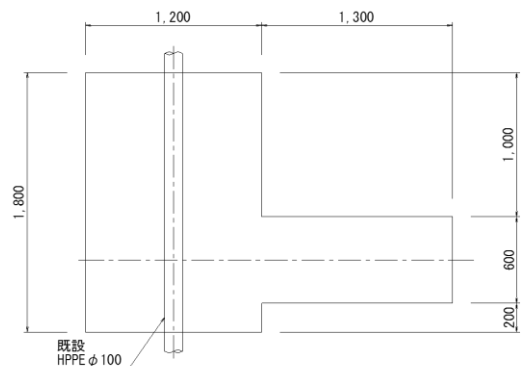


工 種	細 別	1カ所 当 り		単位	数 量
		算 式	数 量		
<掘削埋戻>					
舗装版切断工	AS版カッター t = 15cmまで	2 × 1.800 + 2 × 2.500	8.600	m	17.20
舗装版取壊し工	排出ガス対策型 BH0.28m3、 t = 10cm以下	1 × 2.940	2.940	m2	5.88
床掘工	排出ガス対策型 BH0.28m3、 け質土	(既設管控除) 2.940 × 1.580 − 0.012 × 1.800	4.624	m3	9.25
ダスト埋戻工	排出ガス対策型 BH0.28m3、 砕石ダスト、 タンバ	(配管控除) スラストCo 2.940 × 0.623 − 0.012 × 2.990 − 0.160	1.636	m3	3.27
発生土埋戻工	排出ガス対策型 BH0.28m3、 発生土、 タンバ	2.940 × 0.757	2.226	m3	4.45
残土処理工	ASガラ	舗装版取壊し工 より 2.94 × 0.04	0.118	m3	0.24
残土処理工	け質土	発生土埋戻工 より 4.624 − 2.226 / 0.9	2.151	m3	4.30
処分費	ASガラ	0.118 × 2.35	0.277	t	0.55
処分費	け質土			m3	4.30
<仮復旧>					
上層路盤工	人力、タンバ 転圧 粒調砕石、 t=11cm	2.94 × 1	2.940	m2	5.88
下層路盤工	人力、タンバ 転圧 切込砕石、 t=10cm	2.94 × 1	2.940	m2	5.88
表層工	人力、タンバ 転圧 再生粗粒アスコン、 t=3cm	2.94 × 1	2.940	m2	5.88
土留め工	軽量鋼矢板 I 型 L=2.0m 支保工1段	1.800 + 2.500	4.300	m	8.60
	掘削部面積	1.80 × 1.20 + 0.60 × 1.30	2.940	m2	
	配管控除 φ100	$\pi/4 \times 0.125^2$	0.012	m2	
	スラストコンクリート	0.60 × 0.40 × 0.52 + 0.70 × 0.50 × 0.10	0.160	m3	

# 土工単位数量計算書（1カ所当り）

不断水分岐部 HPPE φ100  
2号函渠部 h = 700

カ所



工 種	細 別	1カ所当り		単位	数 量
		算 式	数 量		
<掘削埋戻>					
舗装版切断工	AS版カッター t=15cmまで	$2 \times 1.800 + 2 \times 2.500$	8.600	m	
舗装版取壊し工	排出ガス対策型 BH0.28m3、t=10cm以下	$1 \times 2.940$	2.940	m2	
床掘工	排出ガス対策型 BH0.28m3、4質土	$2.940 \times 1.085 - 0.012 \times 1.800$ (既設管控除)	3.168	m3	
ダスト埋戻工	排出ガス対策型 BH0.28m3、砕石ダスト、タンバ	$2.940 \times 0.625 - 0.012 \times 3.090$ (配管控除)	1.800	m3	
発生土埋戻工	排出ガス対策型 BH0.28m3、発生土、タンバ	$2.940 \times 0.260$	0.764	m3	
残土処理工	ASガラ	舗装版取壊し工 より $2.94 \times 0.04$	0.118	m3	
残土処理工	4質土	発生土埋戻工 より $3.168 - 0.764 / 0.9$	2.319	m3	
処分費	ASガラ	$0.118 \times 2.35$	0.277	t	
処分費	4質土			m3	
<仮復旧>					
上層路盤工	人力、タンバ 転圧 粒調碎石、t=11cm	$2.94 \times 1$	2.940	m2	
下層路盤工	人力、タンバ 転圧 切込碎石、t=10cm	$2.94 \times 1$	2.940	m2	
表層工	人力、タンバ 転圧 再生粗粒アスコン、t=3cm	$2.94 \times 1$	2.940	m2	
	掘削部面積	$1.80 \times 1.20 + 0.60 \times 1.30$	2.940	m2	
	配管控除 φ100	$\pi/4 \times 0.125^2$	0.012	m2	

材料調書 HPPE φ 100

[illegible]



[illegible]

切管調整表                      HPPE  $\phi 100$                       5.00 m/本

HPPE  $\phi$  100

5.00 m/本

切管調整表                      HPPE  $\phi 100$                       5.00 m/本

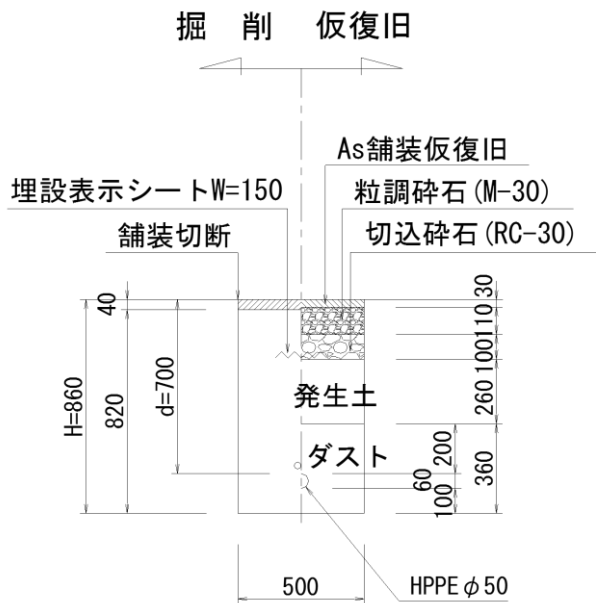
HPPE φ100布設工

名 称	形状寸法	単位	算式	数 量
HPPE φ100				
ポリエチレン管据付工	溶融接合 φ100	m	不断水分岐 26.86 - 1.36	11.6
ポリエチレン管継手工	溶融接合 片受 φ100	口		8
ポリエチレン管継手工	溶融接合 両受 φ100	口		4
メカニカル継手工	特殊押輪 φ100	口		2
フランジ継手工	φ75	口		3
フランジ継手工	φ100	口		2
ポリエチレン管切断工	φ100	口	切管調整+既設キャップ止	4
鋳鉄管切断工	φ100	口	メカ帽設置箇所	2
空気弁設置工	φ25	基		1
仕切弁ボックス設置工	円形1号	箇所	H=0.67m	
仕切弁ボックス設置工	円形1号	箇所	H=1.12m	4
不断水連絡工	DIP用 φ100×φ100	箇所		2
不断水連絡工	PE用 φ100×φ100	箇所		0
不断水止水栓設置工	DIP用 φ100	箇所		2
不断水止水栓設置工	PE用 φ100	箇所		0
埋設表示シート工		m		12.2
通水試験工		日	12.2÷1,250m/日	0.01
スラストコンクリート工		箇所		2
コンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	管控除 A=π/4×0.12 <sup>2</sup> =0.011m <sup>2</sup> (0.60×0.52-0.011)×0.40×2箇所	0.24
型枠		m <sup>2</sup>	{(0.60+0.40)×2×0.52-0.011×2}×2箇所	2.04
基礎碎石	RC-40 t=10cm	m <sup>2</sup>	0.70×0.50×2箇所	0.70

土工單位数量計算書(1m当り)

市道（車道部）                  H P P E    ϕ 50  
   h =      700

		h=1.150	不断水			
土工延長						



$$\text{配管控除} \quad \pi \div 4 \times 0.060^2 = 0.003 \text{ m}^3$$

[illegible]

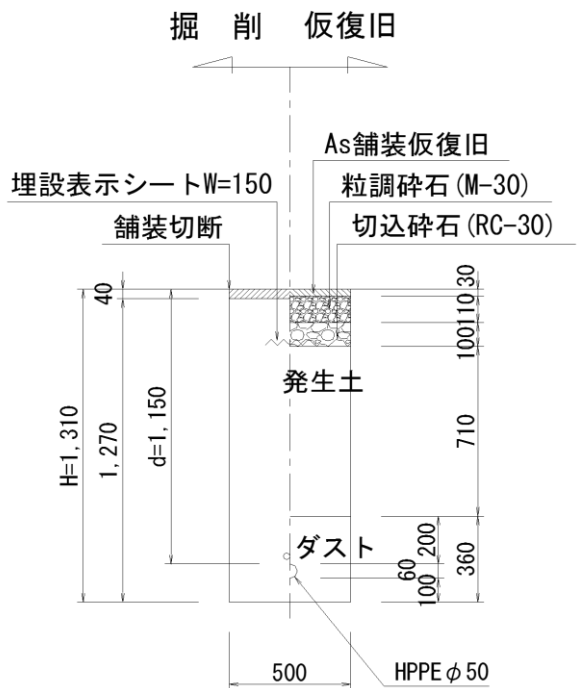
土工單位数量計算書(1m当り)

市道（車道部）

HPPE  $\phi 50$

## h = 1,150

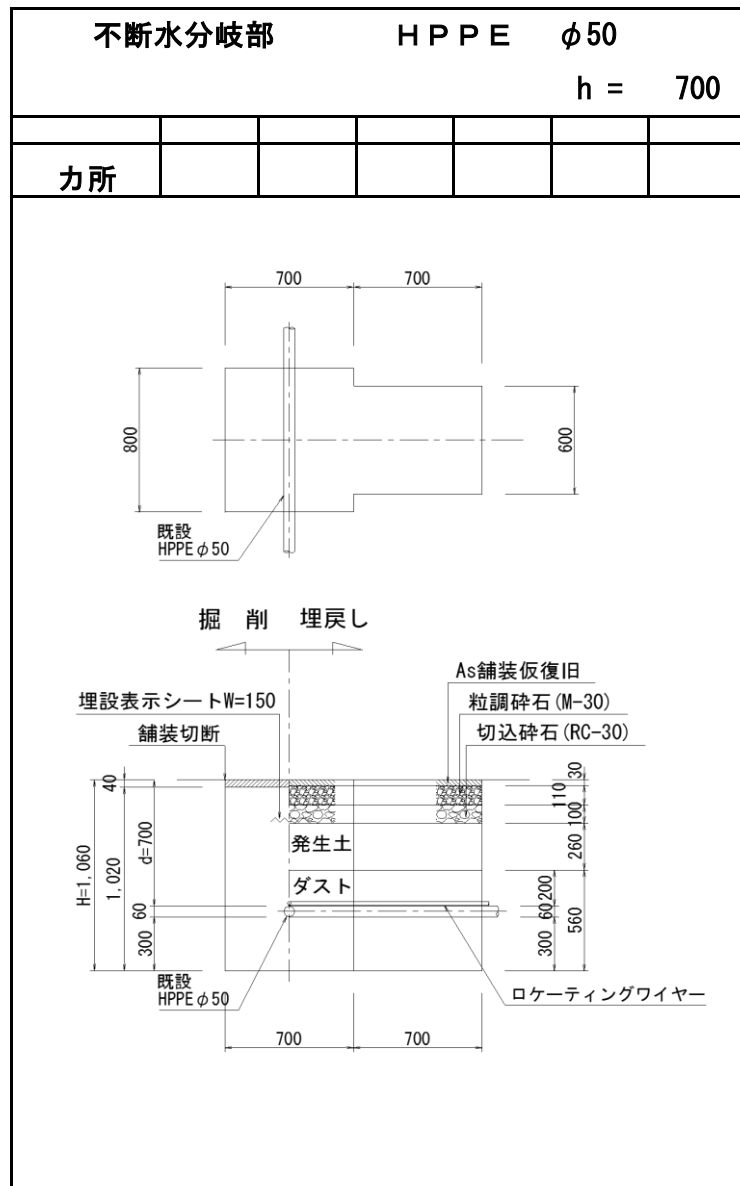
## 土工延長



$$\text{配管控除} \quad \pi \div 4 \times 0.060^2 = 0.003 \text{ m}^3$$

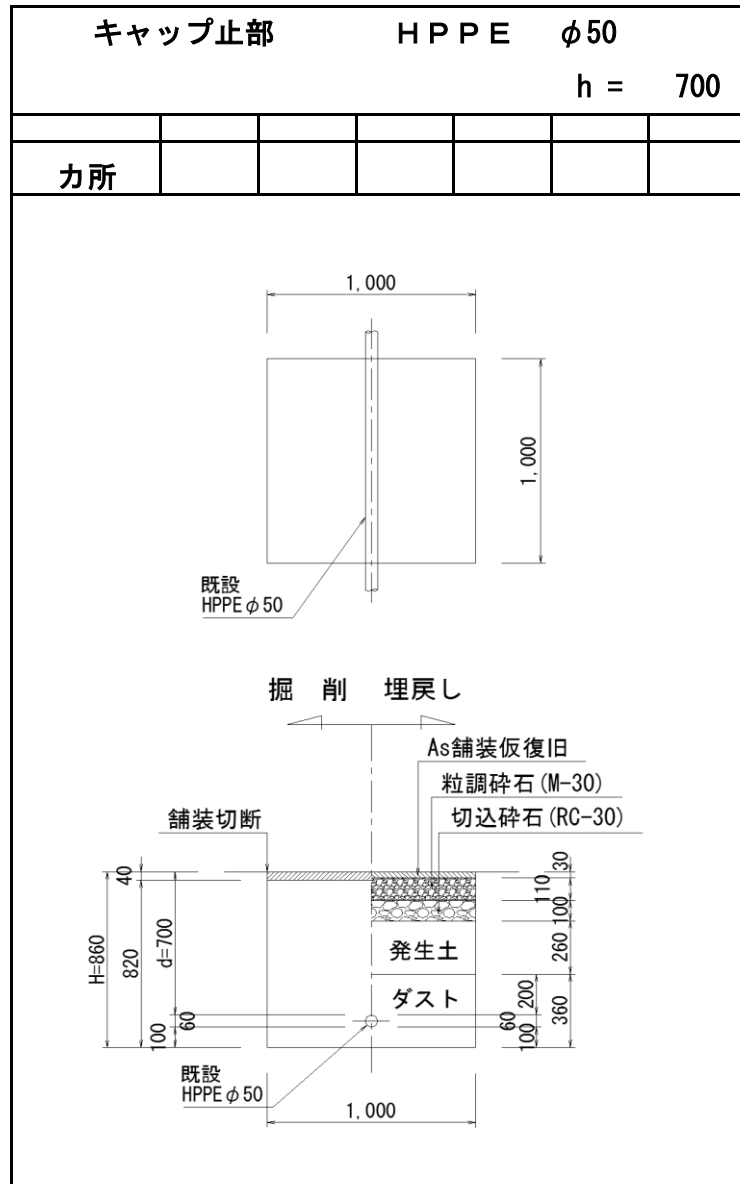
[illegible]

# 土工単位数計算書(1カ所当り)



工 種	細 別	1カ所 当 り		単位	数 量
		算 式	数 量		
<掘削埋戻>					
舗装版切断工	AS版カッター t＝15cmまで	2 × 0.800 ＋ 2 × 1.400	4.400	m	
舗装版取壊し工	排出ガス対策型 BH0.28m3、 t＝10cm以下	1 × 0.980	0.980	m2	
床掘工	排出ガス対策型 BH0.28m3、 ㄱ質土	(既設管控除) 0.980 × 1.020 － 0.003 × 0.800	0.997	m3	
ダスト埋戻工	排出ガス対策型 BH0.28m3、 砕石ダスト、 タンバ	(配管控除) 0.980 × 0.560 － 0.003 × 1.720	0.544	m3	
発生土埋戻工	排出ガス対策型 BH0.28m3、 発生土、 タンバ	0.980 × 0.26	0.255	m3	
残土処理工	ASガラ	舗装版取壊し工 より 0.98 × 0.04	0.039	m3	
残土処理工	ㄱ質土	発生土埋戻工 より 0.997 － 0.255 / 0.9	0.714	m3	
処分費	ASガラ	0.039 × 2.35	0.092	t	
処分費	ㄱ質土			m3	
<仮復旧>					
上層路盤工	人力、タンバ 転圧 粒調砕石、 t＝11cm	0.98 × 1	0.980	m2	
下層路盤工	人力、タンバ 転圧 切込砕石、 t＝10cm	0.98 × 1	0.980	m2	
表層工	人力、タンバ 転圧 再生粗粒アスコン、 t＝3cm	0.98 × 1	0.980	m2	
	掘削部面積	0.80 × 0.70 ＋ 0.60 × 0.70	0.980	m2	
	配管控除 φ50	$\pi/4 \times 0.060^2$	0.003	m2	

# 土工単位数計算書（1カ所当り）



工 種	細 別	1カ所 当 り		単位	数 量
		算 式	数 量		
<掘削埋戻>					
舗装版切断工	AS版カッター t =15cmまで	4 × 1.000	4.000	m	
舗装版取壊し工	排出ガス対策型 BH0.28m3、 t =10cm以下	1 × 1.000	1.000	m2	
床掘工	排出ガス対策型 BH0.28m3、 ㄱ質土	1.000 × 0.820 − 0.003 × 1.000 (既設管控除)	0.817	m3	
ダスト埋戻工	排出ガス対策型 BH0.28m3、 碎石ダスト、 ㄱハ	1.000 × 0.360 − 0.003 × 1.000 (配管控除)	0.357	m3	
発生土埋戻工	排出ガス対策型 BH0.28m3、 発生土、 ㄱハ	1.000 × 0.26	0.260	m3	
残土処理工	ASがう	舗装版取壊し工 より 1.00 × 0.04	0.040	m3	
残土処理工	ㄱ質土	発生土埋戻工 より 0.817 − 0.260 / 0.9	0.528	m3	
処分費	ASがう	0.040 × 2.35	0.094	t	
処分費	ㄱ質土			m3	
<仮復旧>					
上層路盤工	人力、ㄱハ 転圧 粒調碎石、 t=11cm	1.00 × 1	1.000	m2	
下層路盤工	人力、ㄱハ 転圧 切込碎石、 t=10cm	1.00 × 1	1.000	m2	
表層工	人力、ㄱハ 転圧 再生粗粒アスコン、 t=3cm	1.00 × 1	1.000	m2	
	掘削部面積	1.00 × 1.00	1.000	m2	
	配管控除 φ50	$\pi/4 \times 0.060^2$	0.003	m2	

## 材料調書 HPPE φ 50

[illegible]



切管調整表	HPPE $\phi 50$	5.00 m/本
-------	----------------	----------

5.00 m/本

切管調整表	HPPE φ50	5.00 m/本
-------	----------	----------

## HPPE $\phi$ 50布設工

[illegible]

### 舗装復旧数量集計表

[illegible]

[illegible][illegible]

## 保安要員集計表

種 別	形状寸法	計 算 式			数 量	単位	摘 要
		数量	施工量	配置人数			
配水管	φ 100				12.2	m	
配水管	φ 50				0.0	m	
【配水管】							※又通訪等言備員は3人を計
舗装切断工	t=15cm迄	28.0m ÷ 240.0m/日 × 3人	=	0.4	人		しているか、現場案件、道路
舗装取壊工	BH0.28m3	9.0m2 ÷ 238.0m2/日 × 3人	=	0.1	人		使
							用許可条件等を考慮して配
							置人数を決定する
床 掘	BH0.2m3	19.0m3 ÷ 67.0m3/日 × 3人	=	0.9	人		
埋戻(発生土)	BH0.2m3	11.0m3 ÷ 116.0m3/日 × 3人	=	0.3	人		
埋戻(ダスト)	BH0.2m3	5.0m3 ÷ 33.0m3/日 × 3人	=	0.5	人		
管布設工	PE φ 100	11.6m ÷ 83.3m/日 × 3人	=	0.4	人		
管布設工	PE φ 50	0.0m ÷ 100.0m/日 × 3人	=	0.0	人		
管継手工	PE φ 100	12口 ÷ 14.3口/日 × 3人	=	2.5	人		
管継手工	PE φ 50	0口 ÷ 25.0口/日 × 3人	=	0.0	人		
管継手工	フランジ φ 50	0口 ÷ 20.0口/日 × 3人	=	0.0	人		
管継手工	フランジ φ 75	3口 ÷ 20.0口/日 × 3人	=	0.5	人		
管継手工	フランジ φ 100	2口 ÷ 16.7口/日 × 3人	=	0.4	人		
管継手工	メカニカル φ 100	2口 ÷ 20.0口/日 × 3人	=	0.3	人		
空気弁設置工		1.0基 ÷ 20.0基/日 × 3人	=	0.2	人		
仕切弁鉄蓋設置工	円形1号	4個 ÷ 16.7個/日 × 3人	=	0.7	人		
仕切弁BOX設置工	円形1号	20個 ÷ 100.0個/日 × 3人	=	0.6	人		
空気弁鉄蓋設置工	円形3号	1個 ÷ 10.0個/日 × 3人	=	0.3	人		
空気弁BOX設置工	円形3号	3個 ÷ 50.0個/日 × 3人	=	0.2	人		
不排水連絡工	φ 100 × φ 100	2箇所 ÷ 3.6箇所/日 × 3人	=	1.7	人		
不排水連絡工	φ 50 × φ 50	0箇所 ÷ 4.5箇所/日 × 3人	=	0.0	人		
不排水止水栓設置工	φ 100	2箇所 ÷ 3.6箇所/日 × 3人	=	1.7	人		
埋設表示シート工		12.2m ÷ 250.0m/日 × 3人	=	0.1	人		
通水試験工		0.0 × 3人	=	0.0	人		
下 層 路 盤	人 力	9.0m2 ÷ 222m2/日 × 3.0人	=	0.1	人		
上 層 路 盤	人 力	9.0m2 ÷ 222m2/日 × 3人	=	0.1	人		
As 仮舗装工	人 力	9.0m2 ÷ 250m2/日 × 3人	=	0.1	人		
舗装切断工	t=15cm迄	7.0m ÷ 240.0m/日 × 3人	=	0.1	人		
舗装取壊工	BH0.28m3	22.0m2 ÷ 238.0m2/日 × 3人	=	0.3	人		
路盤掘削	BH0.2m3	0.1m3 ÷ 67.0m3/日 × 3人	=	0.0	人		
不陸整正		13.0m2 ÷ 217m2/日 × 3人	=	0.2	人		
As 舗 装 工	人 力	22.0m2 ÷ 250m2/日 × 3人	=	0.3	人		
軽量鋼矢板	L=2.0m	9.0m ÷ 12.3m/日 × 3人	=	2.2	人		建込み
"	"	9.0m ÷ 16.8m/日 × 3人	=	1.6	人		引き抜き
軽量鋼矢板	L=3.0m	4.0m ÷ 8.1m/日 × 3人	=	1.5	人		建込み
"	"	4.0m ÷ 11.2m/日 × 3人	=	1.1	人		引き抜き
支保工	1段	9.0m * 0.05人/m × 3人	=	1.4	人		設置
"	2段	4.0m * 0.05人/m × 3人	=	0.6	人		設置
支保工	1段	9.0m * 0.02人/m × 3人	=	0.5	人		撤去40%
"	2段	4.0m * 0.02人/m × 3人	=	0.2	人		撤去40%
合 計				22.1	人		

日当たり標準施工量一覧表							
工 種		種 類	決定要因	歩 掛 り	配 置	日当り施工量	基準書
機 械 掘 削	0.10m3 BH	BH0.13m3	バックホウ	48.0(m3/日)	1台	48.0m3/日	H26実務必携P146
	0.20m3 BH	BH0.28m3	バックホウ	67.0(m3/日)	1台	67.0m3/日	
	0.35m3 BH	BH0.45m3	バックホウ	99.0(m3/日)	1台	99.0m3/日	
	0.60m3 BH	BH0.80m3	バックホウ	217.0(m3/日)	1台	217.0m3/日	
掘 入 削 力			普通作業員	12.0(m3/日)	1人	12.0m3/日	H27広島県(Ⅰ)P137
埋 入 戻 し		普通作業員	タンバ	33.0(m3/日)	1人	33.0m3/日	H26実務必携P149
機 械 埋 戻 し	機械施工	BH0.13m3	バックホウ	90.0(m3/日)	1台	90.0m3/日	H26実務必携 P148・P149
		BH0.28m3	バックホウ	116.0(m3/日)	1台	116.0m3/日	
		BH0.45m3	バックホウ	155.0(m3/日)	1台	155.0m3/日	
基 礎 砂 工		普通作業員	タンバ	33.0(m3/日)	1人	33.0m3/日	
管 布 設 工	ポリエチレン管(融着接合)	内径 50 mm	配管工	0.10 (人/10m)	1人	100.0 m/日	H26実務必携P74
		内径 75 mm	配管工	0.10 (人/10m)	1人	100.0 m/日	
		内径 100 mm	配管工	0.12 (人/10m)	1人	83.3 m/日	
		内径 150 mm	配管工	0.18 (人/10m)	1人	55.6 m/日	
	ポリエチレン管継手工 (融着接合)	内径 50 mm	配管工	0.04 (人/口)	1人	25.0 口/日	
		内径 75 mm	配管工	0.05 (人/口)	1人	20.0 口/日	
		内径 100 mm	配管工	0.07 (人/口)	1人	14.3 口/日	
		内径 150 mm	配管工	0.09 (人/口)	1人	11.1 口/日	
舗 装 工	不 陸 整 正 工	施工幅1.8m未満	締固め作業 (タンバ)	0.46 (日/100m)	1台	217m2/日	H26実務必携P156
		施工幅1.8m以上	締固め作業 (振動ローラ・タンバ)	0.16 (日/100m)	1台	625m2/日	H26実務必携P154
	路 盤 工 (下層路盤 20cmまで) (上層路盤 15cmまで)	施工幅1.8m未満	締固め作業 (タンバ)	0.45 (日/100m)	1台	222m2/日	
		施工幅1.8m以上	締固め作業 (振動ローラ・タンバ)	0.20 (日/100m)	1台	500m2/日	H26実務必携P162
	表 層 工	仕上り厚t≤50		250(m <sup>3</sup> /日)	1班	250m2/日	
		仕上り厚50<t≤70		230(m <sup>3</sup> /日)	1班	230m2/日	
道 路 維 持 修 繕 工	舗装切断(15c以下)	コンクリートカッター		240.00 (m/日)	1台	240.0 m/日	H27広島県(Ⅰ)P177
	As舗装版破砕積込み	0cmから10cm	BH0.10	0.49 (人/100m2)	1人	204m2/日	H26実務必携P152
		0cmから10cm	BH0.20	0.42 (人/100m2)	1人	238m2/日	
そ の 他	試 掘 工					3箇所/日	
	給 水 管 工					5箇所/日	
	仕切弁設置工	φ100以下	配管工	0.03 (人/基)	1人	33.3 基/日	H26実務必携P85
		φ150	配管工	0.04 (人/基)	1人	25.0 基/日	
	空気弁設置工(人力)	φ16～25	配管工	0.05 (人/基)	1人	20.0 基/日	H26実務必携P87
		φ50	配管工	0.10 (人/基)	1人	10.0 基/日	
		φ75	配管工	0.15 (人/基)	1人	6.7 基/日	
	消火栓設置工		配管工	0.08 (人/箇所)	1人	12.5 箇所/日	H26実務必携P88
	仕切弁鉄蓋設置工	円形1号	普通作業員	0.06 (人/個)	1人	16.7個/日	
	空気弁・消火栓鉄蓋設置工	円形3号	普通作業員	0.10 (人/個)	1人	10.0個/日	H26実務必携P89
	仕切弁ボックス設置工	円形1号	普通作業員	0.01 (人/個)	1人	100.0個/日	
	空気弁・消火栓ボックス設置工	円形3号	普通作業員	0.02 (人/個)	1人	50.0個/日	H26実務必携P75
	管明示テープ工	φ75 L=5.0m	普通作業員	0.10 (人/100m)	1人	1000.0 m/日	
		φ100 L=5.0m	普通作業員	0.10 (人/100m)	1人	1000.0 m/日	
		φ150 L=5.0m	普通作業員	0.11 (人/100m)	1人	909.1 m/日	
	管明示シート工		普通作業員	0.40 (人/100m)	1人	250.0 m/日	
	不連続水連絡工	φ50×φ50	特殊作業員	0.22 (人/箇所)	1人	4.5 箇所/日	H26実務必携P55
		φ75×φ75	特殊作業員	0.27 (人/箇所)	1人	3.7 箇所/日	
		φ100×φ100	特殊作業員	0.28 (人/箇所)	1人	3.6 箇所/日	
		φ150×φ150	特殊作業員	0.30 (人/箇所)	1人	3.3 箇所/日	
	フランジ継手工(鋳鉄)	φ50	配管工	0.05 (人/口)	1人	20.0 口/日	H26実務必携P48
		φ75	配管工	0.06 (人/口)	1人	16.7 口/日	
		φ100	配管工	0.06 (人/口)	1人	16.7 口/日	
		φ150	配管工	0.07 (人/口)	1人	14.3 口/日	
	メカニカル継手工	φ75以下	配管工	0.05 (人/口)	1人	20.0 口/日	H26実務必携P46
		φ100	配管工	0.05 (人/口)	1人	20.0 口/日	
		φ150	配管工	0.06 (人/口)	1人	16.7 口/日	